



7月9日、キャンナス鴨川（千葉）が発会

代表の一島栄美子さんは、市内の病院で新生児・小児看護に携わってきた中で、ご家族のレスパイトの必要性を感じていたようで、それが発会のきっかけとなりました。

小児だけと限定するのではなく、世帯の困りに応えられるような活動を目指していきたいと意欲を語りました。162番目となります。



それにしてもすごい発会式になりました！ 役所の方、社会福祉協議会の方、病院の方、NPOの方、介護事業所の方、障害者事業所の方、議員さん、50人近くの方がお集まりくださいました。



東日本大震災の時にawa311としてこの地域の方にキャンナスはたくさん支えられました。それ以来、地域がいろいろな形でまわりを保っていることの表れではないかと感じました。千葉県にはこれでキャンナスは9カ所目になります。
(菅原由美 Facebookより)

※7月は、15日キャンナス那須（栃木）、24日キャンナス久米島（沖縄）が発会予定です。その後も続々！

直近3カ月の介護・看護サービス利用実績

(人数)

	4月	5月	6月	新規	サービス提供エリア
訪問看護	135	136	135	○	藤沢市、鎌倉市
訪問介護 鎌倉事業所	10	9	8	○	鎌倉市
居宅介護支援 湘南事業所	44	37	41	▲	藤沢市、鎌倉市
居宅介護支援 鎌倉事業所	15	13	10	▲	鎌倉市
小規模多機能型居宅介護「絆」	20	20	20	◎	藤沢市
定期巡回随時対応型 訪問介護看護 湘南事情所	10	10	12	◎	藤沢市
定期巡回随時対応型 訪問介護看護 鎌倉事業所	10	8	9	○	鎌倉市
ウェルライフヴィラ湘南ちがさき 内訪問介護事業所	28	28	28	◎	高齢者住宅所在地・茅ヶ崎市
ウェルライフガーデン海老名 内訪問介護事業所	28	28	27	◎	高齢者住宅所在地・海老名市 フラワーケアがサービス提供

◎十分余裕あり、○余裕あり、▲残り僅か、×あいにく今は一杯です。 総合問い合わせ窓口：0466-23-4500

「キャンナス」とは

英語の「できる (can)」と「看護師 (nurse)」の造語。在宅介護で苦勞した看護師の菅原由美が資格を地域に役立ててもらおうと1997年に立ち上げた全国訪問ボランティアナースの会が始まりです。キャンナスは、私たちグループの原点。

発行： ナースケアグループ
発行人： 菅原由美
発行日： 2023年7月15日

〒 251-0024
神奈川県藤沢市鶴沼橋
1-2-4 502
tel 0466-23-4500
fax 0466-27-8280

(有) ナースケア
(株) パールケア
(有) フラワーケア
NPO法人キャンナス

目次

事業所
便り



思い思いに過ごす日常 七夕イベントも楽しんで



フラワーケアは高齢者住宅の中の訪問介護事業所です。住宅なので、日常は思い思いに過ごされています。朝、お食事が終わると。居室へとすぐ戻られる方もいれば、食堂のTVを見て過ごされる方もいらっしゃいます。

朝、お部屋に体温を計りにお伺いしますと、TVを見ている方が多いですが、韓国ドラマが人気です。

朝9：30よりお茶の時間、14時からおやつ時間で、お茶とお菓子が用意されます。日曜日はカラオケをして過ごされています。時にはイベントも企画します。

7月2日（日）は七夕の行事を行いました。ご利用様は短冊に願いを書き、職員が笹に付けて飾りました。おやつは、ヨーグルトクリームを組み合わせ、甘酸っぱいパイナップルシロップ漬け、キウイも入って初夏にぴったりなカップゼリーでした。皆さん、おいしそうに召し上がり、楽しく過ごされていました。

(フラワーケア 管理者 中村亜希子)

ご案内 8月のまちの保健室は21日(月)となります

定期的な訪問と随時対応 24時間365日対応します

こんにちは、ナースケア鎌倉、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の管理者の加藤です。私たちはこのサービスを「定期巡回」や「定巡」と呼んでいます。鎌倉市、藤沢市の2カ所で事業展開しています。

2012年より始まり、弊社では2018年より開始している本サービスですが、良く「普通の訪問介護との違いって何？」と言う声を聞きます。

定巡では短時間の訪問を1日複数回行う事が可能です。

例えば、処方された薬を確実に服用しているかの確認、複数回の排泄介助、日中独居の高齢者の水分補給の促しでの訪問などを行えます。また、定期的な訪問に加えて随時対応も可能で、オペレーターと電話相談ののち訪問が必要と判断した際には利用者様宅にヘルパーが訪問します。

弊社で行っている訪問看護とも連携がスムーズに行えるのが大きな特徴です。介護サービスのみでの利用でも看護師の定期的なアセスメントはありますが、訪問看護師による定期的な体調確認や医師との連携、状態変化時の訪問等スピーディな対応が可能です。

定巡は介護が必要になっても、住み慣れた家でできる限り生活ができるようにつくられたサービスです。定巡について詳しく知りたいという方はお気軽にお問い合わせください。

(定期巡回随時対応型訪問介護・看護管理者 加藤経法)

メリット

24時間365日サービス提供

- 在宅にしながら施設同様の安心感！
- 土日祝日も対応してくれる！

・緊急時も柔軟な対応

- 急遽身体介助が必要になった場合も随時対応！
- 利用者の状態・状況に応じて柔軟に訪問回数の変動も可能！

・自立支援を促すサービス

- 必要なサービスのみを提供するので、利用者のできることを事業所が行うことはありません。自立支援を促すことで、利用者の状態が良くなり、より長く在宅で生活を送っていただくことも。

・自宅での看取りも

デメリット

話し相手になってほしい、長時間いてほしい、決まったヘルパーさんに来て欲しいは難しい場合が多い

スマケアブログ「定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは【家族向け】」より抜粋

【お知らせ】

ナースケアグループ本部事務所が、法華クラブホテル地下1階より移転いたしました。

新事務所は、〒251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-4 502となります。これに伴い、コミュニティカフェは閉鎖、フードバンク事業は当面の間休止いたします。長い間のお引き立てをありがとうございました。

最後の一口をおいしく「お食い締め」の支援

在宅医療に関わっておりますとお食い初めならぬ「お食い締め」に関わらせていただく場面にも何度か立ち合いました。

お食い初めは赤ちゃんが生後100日目に一生食べることに困らぬようにとの意味を込めて鯛などの縁起物を食べる真似をする儀式ですが、「お食い締め」は人生の最期にさしかかって、自由にものを食べることが難しくなってきたとき、ご家族に見守られながら、ご本人がとりわけ食べたいものを食べるという行為です。

「お食い締め」支援を行うときは御本人の「食べたい」という意思があり、食べることが苦痛でない等の条件があります。食べ物を咀嚼して嚥下するときは一瞬（約0.5秒）ではありますが、息を止め食べ物が肺に入らないように喉頭蓋が閉鎖し気道に蓋をします。

食べることはその動作の連続です。そのため、お看取り期にあり、呼吸機能が低下していると食べることが苦痛に感じる場合もあります。御本人、御家族の希望を伺いながら食事の形態や姿勢、介助法などをアドバイスさせていただきます。飲み込みやすいゼリーやプリンを召し上がるケースが多いですが、とろみをつけたお酒をスプーンで飲んだ方もいらっしゃったそうです。

安心安全に最後の一口を「おいしい」とおっしゃっていただけるような支援を多職種と連携しながらさせていただきたいと思っております。(本稿終わり)

(ナースケア湘南訪問看護ステーション 言語聴覚士 上杉安哉子)

(参考文献)

牧野日和(2018)最期まで口から食べるために②全国高齢者施設看護協会



枕元にいつも携帯

先日、他のナースステーションの看護師さんから、「定期巡回はいつでもご利用者様の対応が出来るなんて良いサービスですね。」とお褒めの言葉を頂きました。24時間365日対応のサービスなので、枕元に携帯電話を置いて、メールの着信音すると、いつも私が一番最初に既読してののではないかと思います。早い早業で確認しています。

ご利用者様全員に「良い人生だったなあ。」と思って頂けるように、これからもスタッフと協力して支援していきたいと思っています。さあ、今日も行ってきまーす！

(湘南定期巡回・随時対応型訪問介護・看護 管理者 三角 典子)



誇りが持てる仕事

介護職に携わり約20年。病院からスタートし、有料老人ホームを経て7年前からナースケアでお世話になっております。数多くの施設を見てきました。

良い経験になりましたが、大きい施設は利用者様に寄り添う余裕がなく、非常に残念に思ったりします。その点、“絆”はアットホームで寄り添う介護ができています施設だと感じます。

おかげ様で沢山の事を学ばせて頂き、今ではこの仕事に堂々と誇りを持てるようになりました。より一層心を込めて寄り添う介護を実践してまいりたいと思っております。

(小規模多機能方居宅介護「絆」中田 祥子)



Wワークで働きやすい

2021年より小規模多機能の“絆”勤務しております。利用者様のご家族様など度々かお会いしてご存じの方もいらっしゃると思いますが、私は美容師と介護の仕事をしており、今は絆に週4回の出勤をしています。

ダブルワークではありますが様々な業務にも携わらせて頂いています。

より介護業界の知識も深めていきたいのももちろんですが、全く違う職業の色々な視点で何か互いの仕事にいかせるような事や、新しい発見などこれから見つけていけたらと思っております。

(小規模多機能型居宅介護「絆」木村 聡)

